

全日本ロボット相撲大会

審判講習会

試合の進行

(資料③)



試合運営・審判の役割

<審判体制>

1土俵……3名体制(主審・副審・第3の審判)

※数試合ごとに役割を入替をお願いします。

※主審だけでは、判定しにくい場面もありますので
土俵審判で試合運営をお願いします。

(優勢判定の協議も含む)

<主な役割>

・主審……試合運営全般、安全管理を行う。

試合の開始、中止・再開、終了を通告する。

また有効、警告、判定、優勢、反則、失格の
宣告や試合の勝敗の宣告を行う。

試合運営・審判の役割

＜主な役割＞

- ・副審・・・有効・優勢・警告・反則・反則負け・取り直し等の宣告に対し主審を補佐する。

試合時間(3分)の計測

ジャッジペーパーに判定を記入

- ・第3の審判・・・安全装備の確認。
(ラジコン)クリスタル装備の確認。
車検を行い、最終判定をジャッジペーパーに記入し集計係に渡す。

会場レイアウト



ご連絡・ご注意

- ・当大会では、大会関係者が撮影した画像や映像は、テレビ・新聞・雑誌・ラジオ等や富士ソフト(株)会社案内・WEB等に掲載されることがありますのでご了承ください。
- ・会場内での飲食・喫煙は禁止です。(熱中症に注意)
- ・競技中のフラッシュ撮影はご遠慮ください。
(ロボットの誤作動を引き起こす原因となります。)

試合の手順(主審の動作 他)

(1)選手を土俵の操作位置に誘導する

「試合をはじめます」

(2)挨拶をさせる

「礼」

(3) 自立型はスタートモジュールが正しく設定されているか(何チャンネルか)選手に確認する

チャンネルが違っている場合はその場で設定する

試合の開始(主審の動作)

(4)対戦準備をさせる

「ロボットを準備してください」

プログラム、アーム、駆動系電源等の設定、**自立型はセーフティのセット**、ラジコン型はプロポの通信確認といったすべてのセッティングを行わせる

(5) 両選手、**ロボットだけを** **持たせて土俵に誘導する**

「試合をはじめます」

(6)ロボットを仕切らせる

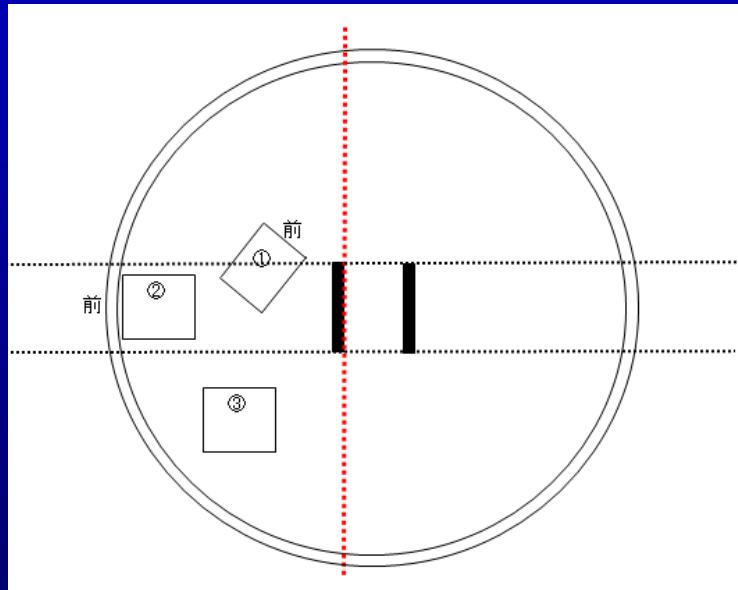
「はい、仕切ります」、

「イチ、二のサン」の掛け声で**ロボットを同時に置かせる**



ロボットの仕切り位置(置き方)

仕切り線の両端を結ぶ線のどちらかにロボットの一部分がかかる(下図①)、もしくは線内に収まる(下図②)のように置かなければならない



③はNG

正しく置けなかった場合は仕切り直しする。

(7)仕切り後はすぐに選手を土俵から離れさせ操作位置につかせる

「はい、下がって」

①仕切り後にプログラム等をセッティングした場合は警告を与え、仕切り直しする。

②アームや旗が倒れた場合はその場でのセットを許可する。この場合は警告は取らない。

ただし、1本の対戦の中で3回連続で倒れた場合は警告を与える。

(8)ブレードの状態を確認する

(9)主審も土俵場外に出る



自立型

(10) 選手にリモコンでロボットのセーフティ機能を解除させる。

「セーフティを解除してください」

(11) 操作員、補助員にゴーグルをつけさせる

「ゴーグルをしてください」

(12) ロボットスタート用赤外線照射装置を構えさせる

「構えてください」 ⇒ 「1本目(2、3本目)」

(13) リモコンでレディ信号を送り、双方のロボットのスタートモジュールがレディになったことを確認する。

「レディ」

※レディになるまで送信してください。(2～3回押下)

自立型

(14) 対戦を開始する

「はっけよい・のこった」の掛け声をかけ、
リモコンでスタート信号を送る。

ロボットが同時にスタートする。

(15) 試合の判定を行う

(16) 判定がついたら試合を止める

「止め」

審判がリモコンで、選手は自分のリモコンで
ロボットを止める。

(17) 判定を宣言する

有効1本、警告、反則、取直しetc

自立型のスタートモジュールの点灯パターン

- ・「レディ」の状態・・・レディ信号を受信すると
LED2回点滅後、赤の点灯。
(繰り返し可能)
- ・「スタート」の状態・・・LED青の点灯。
- ・「ストップ」の状態・・・LED青赤の点滅。
(他の操作不可能)

＜再度、電源OFFし、再スタート準備＞

ラジコン型

(10) 操作員、補助員にゴーグルをつけさせる

「ゴーグルをしてください」

(11) プロポを持たせる

「プロポを持って」

(12) 対戦を開始する

「(準備)よろしいですか？」

「1本目(2、3本目)」

「はっけよい・のこった」の掛け声をかけ、

カウンターのスタートボタンを押す。(3秒前から)

カウントダウンが始まり、電子音が4回鳴る。

選手は最後の電子音でロボットをスタートさせる。

<フライングの有無の判定に注力>

ラジコン型

(13)試合の判定を行う

(14)試合を止める

「止め」の声をかける。

(15)判定を宣言する 有効1本、警告、反則、取直しetc

試合の勝敗が決まったら両者を整列させ、
勝ち名のりを上げて、礼をさせる
「両者整列」→「何対何で赤又は青の勝ち」→「礼」



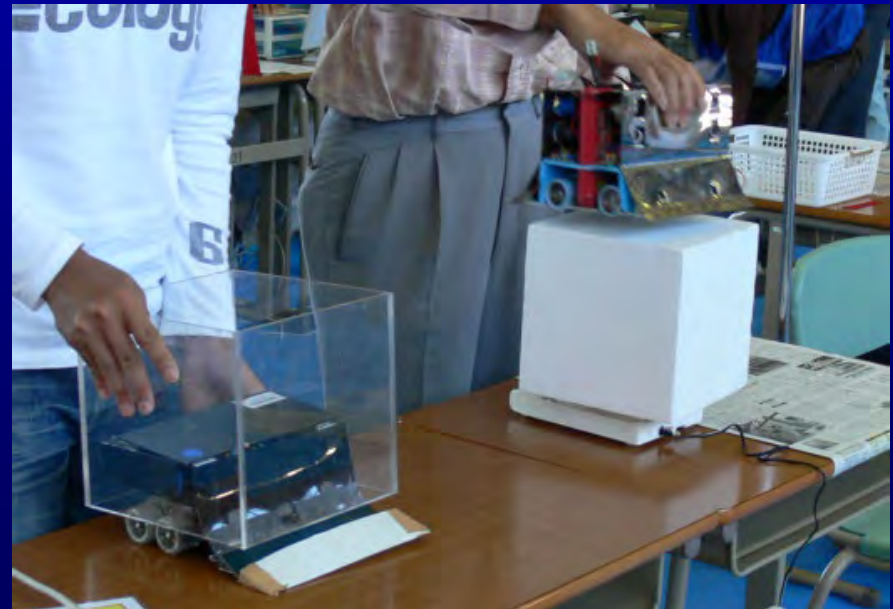
車検の実施

試合の勝者のロボットの車検の実施
(敗者も立ち会わせる)

※審判はロボットには触らない
(選手が図り、審判は確認する)

ロボットの規格(自立型・ラジコン型)

- ・幅20cm × 奥行き20cm以内
- ・重量は3000g以内
- ・高さは自由



ジャッジペーパーの最終記入・確認

車検結果を記入し、副審が記入した試合結果に誤りがないか、主審欄のチェックを確認。

また、**きちんと選手のゼッケン番号を確認し、勝者が間違っ**て記入されいないか確認する。

← 副審が記入
選手のゼッケンを見て書き間違えのないように記入すること。

← 主審が記入 勝った選手のゼッケン上部の番号と上の番号を照らし合わせて確認すること

← 第3の審判員が記入

※①車検の結果を○、×で記入する。

②勝ったチームのゼッケン上部の番号を記入するか「両者負け」にチェックを入れる。

安全対策

選手、観客、スタッフに怪我をさせないようにすることも審判の重要な役割です。

以下のことを徹底させてください。

- 対戦時以外はプロポ、リモコンは持たせない
- ロボットを停止する際は余地に入らせない

安全対策

- 双方のロボットが止まったことを確認した上で
審判の指示でロボットを取りに行かせる。
勝手に土俵場内には入らせない
- ロボットの撤去（取り直し等）の際、ロボットの電
源を入れて自走させることを禁止しています。
- ロボットを運ぶ際に箱に入れていない選手が
いたら注意をする
- 試合開始「はっけよいのこった」の宣言は土俵
場外で行う

審判員の服装



- ・ゴーグル
- ・審判ポロシャツ
- ・ストップウォッチ
- ・手袋
- ・黒紺等濃い色のスラックス
- ・運動靴
- ・プロテクター

審判する上での ポイント

審判する上でのポイント その1

＜ラジコン型＞

➤ フライイングは厳しくとる

ロボットのスタートが勝敗に大きく影響します。

少しでも早く動いた方が優位です。

きちんと判定し、厳しく取ってください。



審判する上でのポイント その2

➤どちらが先に地面についたかをしっかり見て
判定してください

(1)アームの先やコードがつくことがあるので
注意してください

(2)わからない、微妙な場合、迷った時は
遠慮せず副審と協議してください

微妙な場合は無理に勝敗をつけず、取り直し
にする

審判する上でのポイント その3

➤土俵の傷つけの判定

単独で傷をつけたら反則負けになります。
そのためとてもシビアな判断を迫られます。
傷つけを見逃さないこと、
単独でつけたのか、組み合ってつけたのか
正確に判断してください。

審判する上でのポイント その4

➤ブレードの飛散の判定のしかた

仕切った際に毎回、双方のロボットのブレードの状態を確認してください。

すでに欠けている場合はその箇所を認識しておき誤って飛散したと判定しないように注意してください。

最後に

- とにかく安全第一で審判してください
- 試合の開始は土俵場外で行ってください。
- ロボットから目をはなさず、ロボットのゆくえに注意してください！！
- ロボットにはブレードがついており、ぶつかると大きなケガをします
周りに注意して、落ち着いて行動してください。
- ロボットが飛んできたり、向かってきた場合はすばやくよけてください。
からだに当たらないように注意してください。